

時代環境変化の中で独自の道を切り開く、先進的企業の挑戦と特長ある現場に触れる

2016年度前期「異業種・独自企業研究会」

－ 日本の新成長戦略、今後日本の「技術開発」と「ものづくり経営」を考える －

と き・訪問見学先

講師とご講演テーマ

1

村田製作所

(株)出雲村田製作所 (島根県出雲市)

5月26日 (木)



『村田の独自技術・独自製品の開発』

(株)村田製作所 常務執行役員 生産本部本部長 小島祐一氏

京都に本社を置く世界トップの電子部品専門メーカー。最先端の研究開発力とグローバルネットワークを誇る。主力製品のセラミックコンデンサのシェアは世界トップ。セラミックフィルター、高周波部品、センサー部品でも圧倒的世界シェアを持つ。出雲村田製作所は積層セラミックコンデンサの主力工場。海外売上率92%超は、売上1兆円以上企業で世界トップ。



小島祐一氏

2

サントリー

サントリー ワールドリサーチセンター(京都府相楽郡)

6月23日 (木)



『サントリー ワールドリサーチセンターの設立』

サントリーホールディングス(株) 専務取締役 辻村英雄氏
サントリービジネスエキスパート(株) 社長

2015年5月に竣工したサントリーグループの基盤研究、技術開発機能を集約した新しい研究開発拠点。「健康科学」「微生物科学」「植物科学」「水科学」「環境緑化」の領域で世界最先端の研究を行い、今後のサントリーグループの研究開発を牽引する核としようとするもの。その推進の中心 辻村英雄氏から、具体的ビジョンとチャレンジを伺う。



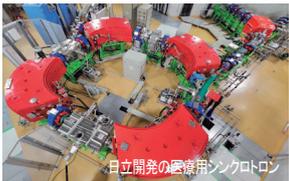
辻村英雄氏

3

日立製作所

日立研究所 (茨城県日立市)

7月12日 (火)



『体に優しい最先端がん治療を実現する 粒子線治療システムの開発』

(株)日立製作所 研究開発グループ技師長 平本和夫氏

日立研究所は世界最先端のハイテクの研究開発が行われている同社のコア研究所の一つ。同社ではオープンイノベーションが積極的に推進され、昨年文部科学大臣賞受賞の「動く腫瘍をピンポイントで狙う“4次元動物追跡型陽子線治療装置”の開発」は北大との共同開発の成果。氏はわが国の陽子線ガン治療等、粒子線医療機器、加速器、照射装置や治療計画ソフト開発の中心。これまで多数受賞。



平本和夫氏

4

Spiber

本社工場(山形県鶴岡市)

8月2日 (火)



※ イノベーションフォーラムと合同開催

『画期的基幹素材 人工蜘蛛の糸の開発』

Spiber(株) 取締役 兼 代表執行役 関山和秀氏

慶大先端生命科学研究所でクモの糸を研究していた氏は、11年間の歳月をかけ、鋼鉄の340倍という異次元の強さと柔軟性、機能面、環境面、テラーメイド性で史上最大のポテンシャルを持つと言われる画期的基幹素材「人工蜘蛛の糸」の製品化・量産化に成功。2015年、遂にゴールドウインと共にアウトドアフィールド事業を立ち上げた。



関山和秀氏

5

コマツ

コマツ粟津工場 (石川県小松市)

9月1日 (木)



コマツ提供

『ダントツの強みを磨け / 企業と国の構造改革』

コマツ 相談役 坂根正弘氏

わが国トップ、世界2位の建機メーカー。ICTを駆使して建設機械の位置や稼働状況などの情報を遠隔で確認、車両の保守管理や省エネ対策を可能にして建設機械に革命をもたらした「KOMTRAX」は坂根氏が生みの親。また2002年、氏の社長時代、5工場ゼロエミッションを達成。現在、地球環境保全に様々な取り組みを行っている。



坂根正弘氏

6

デンソーウェーブ

本社工場(愛知県知多郡)

10月19日 (水)



『社会システムの大きな変化を捉えた デンソーウェーブの事業・開発戦略』

(株)デンソーウェーブ 代表取締役社長 中川弘靖氏 他

2001年、デンソーから分社化。「認識」「制御」「センシング」をコア技術に、産業用ロボットや自動認識装置、プログラマブルコントローラ等に事業展開。同社開発の「QRコード」は今世界中で活用されている。「IoT」「インダストリアル4.0」等の大きな社会システムの変化を捉えた人々の快適で便利な生活を支援する魅力のある製品づくりをご紹介します。



中川弘靖氏

チエアママン



東レ(株) 顧問、元代表取締役副社長 CTO
東レバッテリーセパレーターフィルム(株)
前代表取締役会長
田中千秋氏



(独) 国立科学博物館
産業技術史資料情報センター長
ものづくり日本大賞選考委員
鈴木一義氏

毎回の基本スケジュール
13:10~14:40 講演
14:40~15:10 Q&A
15:20~16:50 現場見学
17:00~18:00 ライトパーティー

※ 誠に恐縮に存じますが、ご同業の場合、ご連絡
いただかなくてはならない場合があります

新経営研究会
<http://www.shinkeiken.com>